

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5398

課題名 : 埼玉県内の刑事施設・警察留置施設等における被収容者の死亡状況に関する調査研究

1. 研究の対象

対象は、亡くなる直前に刑事施設（刑務所、少年刑務所、拘置所）や警察留置施設（留置場、保護室）に収容されていて、急に病気を発症するなどして死亡され方のうち、防衛医科大学校（以下、本校という。）法医学講座で 2001 年 1 月～2025 年 12 月の期間に解剖された方。

2. 研究期間

2026 年 5 月（研究実施許可） ～ 2026 年 12 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2026 年 5 月 15 日

提供開始予定日 : 該当なし。

4. 研究目的

社会秩序を維持するために、法律（刑事司法手続きや警察官職務執行法）に基づき上記 1 に記載の諸施設に留め置かれる方々（以下、被収容者という。）がいます。被収容者は、様々な理由から、自ら体調不良を訴えたり、適切なタイミングで病院受診することが困難なこともあり、突然に発症した病気や持病の悪化で亡くなる場合があります。時として、自殺を図ったり、管理者による不適切な拘束具の使用などにより死亡した方が報道されることもあります。

今回、埼玉県内の刑事施設等に収容されている最中に死亡された方のうち、本校で解剖された方の情報等を取りまとめて分析し、死に至った原因や背景を明らかにし、被収容者の心身の安全性の向上に寄与したいと考えています。

5. 研究方法

対象者の方については、解剖の際に警察や検察から死亡に至る状況等の詳細な情報が提供されています。その情報と、死因等の解剖で得られた情報を整理し、情報の分析を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、体重、既往歴、治療中の病気、収容中の健康状態、収容中の治療の有無・治療の内容、事前の体調不良の訴えの有無、病院搬送の有無、死因 等の情報を用います。

なお、具体的な収容施設名や死亡時期、氏名、生年月日といった個人が推定あるいは特定されるような情報は研究に使用しません。

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし。

8. 研究組織

本校単独研究

9. 研究に関する情報公開の方法

研究結果を発表する際には、個人が特定できないよう個人情報を加工して公表いたしません。

10. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

本校では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。使用するのは本校から割り当てられた講座研究費の一部です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

11. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご遺族の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも亡くなられた方やご遺族に不利益が生じることはありません。ご了承いただけない場合、研究対象のために抽出した情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校法医学講座 井戸田望（いどたのぞみ）

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

連絡先：04-2995-1511（内線 2600）電話対応時間 9時から 16時

idotan@ndmc.ac.jp

当講座の研究責任者：上記と同じ